広報

にしわが

第8号

平成18年

6月号

今月の内容

ゴミについて考えよう…… 2～8
湖水まつり・マラソン…… 11～12
西高漕艇部インターハイへ…… 16～17
匠の神髄6　大澤リキさん ……23

写真■6月3日・高総体ボート競技県大会
女子舵手付きクォドルプル予選の西和賀クルー（関連P16～17）

ゴミについて考えよう

使い捨てから再利用へ

人は分別（ふんべつ）、ゴミは分別（ぶんべつ）

ゴミを大別すると

日本は第二次大戦後、「世界に追いつけ追い越せ」を合い言葉に、急速に経済成長を遂げてきました。特にも、昭和30年からの高度経済成長期からは、使い捨てることがあたり前の大量消費社会を迎えました。

ゴミを大きく分類すると、工場や建設現場、農業施設などから排出される「事業所系産業廃棄物」と、一般家庭から出される「生活系一般廃棄物」に分けられます。

今回は家庭からの一般廃棄物を通して、リサイクルなど私たちにできる事を考えてみたいと思います。

ゴミは年間1388トン

現在の私たちの生活スタイルは「大量生産型・大量消費型・大量廃棄型」とよく表現されます。必要なものがすぐに手に入り、確かに便利な生活になりましたが、その分、出るゴミの量もどんどん増えているのが現状です。

町が平成17年度に処理した生活系一般廃棄物の量は旧湯田町と旧沢内村を合わせて、燃えるゴミが855トン、燃えないゴミが111トン、資源ゴミが422トンです。

近年、増え続けるゴミの量を減らし再利用できる資源を回収するため、燃えるゴミ、燃えないゴミに加え、缶類、びん類、ペットボトル、プラスチック容器包装類、新聞・雑誌等紙類…といった分別収集が、全国的に徹底されてきています。

家電なども資源としてリサイクル

日常の生活から出る生活ゴミ以外でも、例えば家電製品を対象とした家電リサイクル法（平成13年4月から）やコンピュータを対象にしたPCリサイクル法（平成15年10月から）、自動車を対象とした自動車リサイクル法（平成17年1月から）などの制度が始まっており、以前は「ゴミ」として処理されていたものも、今は「資源」としてリサイクルし、ゴミの減量に努めるようになってきました。

このように、ゴミの処理に対するルールが定められ、これらのルールをきちんと守ることが「ゴミ」として捨てる量を減らすことにつながります。

燃えるゴミ1トンあたりおよそ1万6000円

最近のゴミ収集に出されたゴミを見ると、残念ながら資源ゴミの分別が徹底されていないため、分ければ資源になるものがかなり含まれています。これらは燃えるゴミとして焼却処理されるか、燃えないゴミとして埋め立て処理をされているのが現状です。

現在、町では燃えるゴミの処理を北上市に委託しており、収集した燃えるゴミは北上市清掃事業所で焼却処理されています。

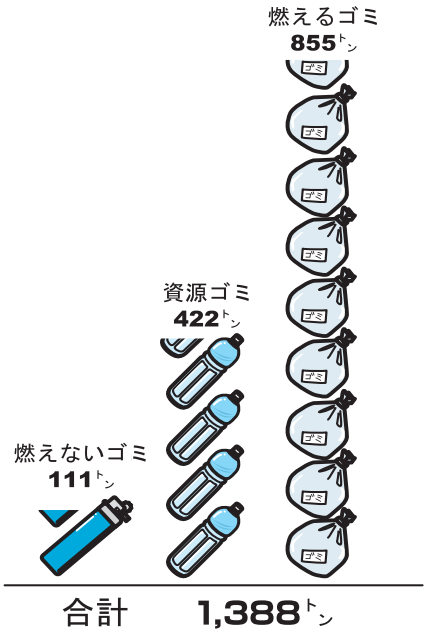
焼却処理するために必要な費用は、燃やすゴミの重さで決まり、燃えるゴミ1トンあたり約1万6000円（平成18年度）です。

分別の徹底をすることで、資源となるプラスチック容器包装類や新聞紙等を燃えるゴミから取り除くと、その分軽くなりますので焼却処理にかかる費用を減らすことができます。

また、生ゴミを出す際にも水切りをしっかりと行うことで、重量が軽くなり、生ゴミの焼却のための費用を軽減することができます。

水分を減らすことで焼却費用が安くなるだけではなく、生ゴミの焼却の際に完全燃焼しやすくなり、ダイオキシン類の発生を抑えることにもつながります。

平成17年度中に町から排出されたゴミの内訳



一袋埋めると2700円

町では、弁天地区に一般廃棄物最終処分場を、平成7年度から平成8年度にかけて建設しました。この施設は、廃棄物からしみ出す重金属や有機化合物の土中への拡散を防ぐ遮水設備や廃棄物の中を浸透して汚れた水をきれいにする浸出水処理施設を備えた、管理型の埋め立て処分場です。

建設にかかった費用はおよそ3億8000万円で、埋め立て容量は9000m^3です。ゴミを埋めるためには、ゴミにかける土も必要です。この土は、ゴミの量に対して3割必要ですので、この土の分を差し引くと埋め立てできるゴミの量は、およそ6300m^3になります。

弁天地区の埋め立て地は管理型

最終処分場を維持管理するための費用も必要ですが、建設費用だけでみた場合、ゴミを1m^3埋め立てるのにおよそ6万円分の費用が必要になります。町の指定のゴミ袋（大）1枚の容量はおよそ45リットルですから、22袋でほぼ1m^3になります。単純に計算するとゴミ袋（大）一袋分を埋めるのに2700円かかります。

現在収集している燃えないゴミの袋の中には、多くの空き缶や空きびん、ペットボトルなど、分ければ資源となるものが混じっています。

役場では紙の種類でさらに分類

そのため、最終処分場に埋め立て処分をするゴミの量が増え、その分、処分する容量が少なくなり、処分場の寿命も早く尽きてしまいます。

最終処分場が満杯になってしまえば、どこかに新しい処分場が必要になります。しかし、最終処分場を建設するためには時間と多額の費用が必要です。また、最終処分場にふさわしい広大な土地を探すことも大変に難しいことです。

現在の最終処分場を少しでも長い間使えるように、一袋でも燃えないゴミの量を減らすため、資源ゴミの分別について、より一層のご協力をお願いします。

西校生によるクリーン作戦（4月27日）

マイバッグを使ってゴミ減量

私たちがスーパー等で買い物をすると、レジでビニール袋をもらいます。品物を入れるのですから当然ですが、このレジ袋も使い終わると最後にはゴミになります。

例えば、週に1回買い物をすると考えて、1回の買い物で平均2枚ほどのレジ袋を使うとします。一ヶ月（4週）で8枚、一年で100枚となり、10000人の人が買い物をすると、その数は10万枚にもなります。そして、これらのレジ

ダイオキシンで使用出来なくなった焼却場（廻戸）

袋のほとんどが、ゴミとして出されているのが現実です。

このゴミの量を少しでも減らすために、買い物をする際には、自分用の買い物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋をもらわない取り組みをしてみましょう。

ゴミの不法投棄 野焼きは禁止です

ゴミの量を減らすため、分別収集やリサイクル制度など、さまざまな制度が始まり、リサイクルに費用がかかるようになったことなども影響し、ゴミの不法投棄が後を絶ちません。

人目につきにくい山林や沢目などが狙われていますが、悪質な不法投棄現場を確認した場合、保健所や警察等関係機関と連携して徹底した調査をし、原因者が分かった場合には原状回復を指導します。

不法投棄と同様に、私たちの町を汚しているのが、空き缶や容器包装類のポイ捨てです。

自分たちの町をきれいにするために、それぞれの地区や学校で率先してクリーン活動などが行われていますが、交通量の多い国道107号沿いでは、心無いドライバーなどが捨てる空き缶が大量に目に付きます。

不法投棄された建設廃材（下前地区）

きれいな環境をつくることは、捨てにくい環境をつくることにもなり、西和賀町を訪れる方々へのイメージアップにもつながります。

また、使用者側が家電4品目を捨てる場合には、その収集運搬料金とリサイクル料金を支払うことになりました。

また、平成16年4月から、家庭ゴミの野外焼却は禁止になりました。

これは社会問題となっているダイオキシン類の発生を抑制するためで、簡易な焼却炉や野外でのゴミ焼却は、ダイオキシン類の発生を抑えることができません。

ダイオキシン類は、ゴミの焼却や金属精錬、紙などの塩素漂白工程等で主に発生し、土壌や河川を汚染し、さらに食物連鎖によって、食べ物から私たちの体内に蓄積すると考えられており、大変毒性が強く発ガン性等も指摘されています。

北上市清掃事業所

ダイオキシン類の発生を防ぐには、より完全燃焼させることができる高温に耐える施設での焼却が必要ですが、小規模なゴミ焼却炉や野焼きでは完全燃焼が難しく、場合によっては最新の焼却炉の1800倍ものダイオキシン類が発生すると言われています。

例外として、農作業のためのやむをえない焼却、どんと焼きやキャンプファイヤーなどの行事、空き地の刈り取った草の焼却や集めた落葉などの軽微な焼却は認められていますが、これらの場合であっても、プラスチックやゴム類、廃油の焼却は禁止されています。

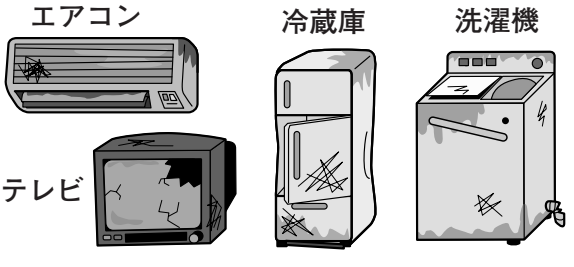
不法投棄は犯罪です

廃棄物の処理を適正に行わなかった場合には、法律により一般廃棄物の場合には5年以下の懲役か1,000万円以下の罰金、また、産業廃棄物の場合にも同様に処罰される他、法人の場合には1億円以下の加重罪ともなります。

「知らなかった」、「これくらいなら大丈夫だろう」という安易な気持ちでは許されません。

家電リサイクル法とは

特定家庭用機器再商品化法を略して家電リサイクル法と言います。平成10年6月に施行されたこの法律では、家庭用エアコン、テレビ、冷蔵庫及び洗濯機の家電4品目について、小売業者による引取り及び製造業者と輸入業者によるリサイクルが義務付けられました。



私たちの取り組み
3Rの推進
消費社会から循環社会へ

現在は、各家庭から排出されるゴミをいかに少なくし、捨てられるゴミを有効に再資源化していく動きが活発になっています。

それが3R（スリーアール）と言われるもので廃棄物の発生を抑制すること（Reduce（リデュース））、資源及び製品を再利用（Reuse（リユース））すること、そして再生利用する（Recycle（リサイクル））ことです。

■リデュースの例

・買い物をするときはマイバッグ持参で買い物をする。

・不必要なものは購入しない。

■リユースの例

・不用になった服は直したり、フリーマーケットに出す。

・おさがりを積極的に活用する。

・修理すれば使えるものは修理して使う。

■リサイクルの例

・町が行っている古紙、びん、アルミ缶、スチール缶などの分別回収の取り組みに協力して、決められた場所に、決められた方法で出す。

今までのように、ゴミの処理には多くの人手と時間、お金が必要になります。

一方で不法投棄やポイ捨てが後を絶ちません。

私たちにできることは、この西和賀のきれいな環境を子供たち、孫たちのために残して伝えることです。

そして「ゴミを拾う」前に「ゴミを捨てない」「捨てさせない」気持ちを持つことです。そのためには、一人一人がゴミ問題について再度確認し、行動に移す必要があります。

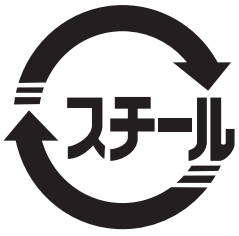
限りある資源だからこそ、資源を大切にし再利用できるものは再利用するという心構えも必要です。「分別するのはめんどうだ」「誰かがやってくれる」という声も耳にしますが、まずは、あなたができることから一歩踏み出し行動しましょう。

このマークが付いていればリサイクル
分別の際にはマークで確認!!

ゴミを分別する際には、製品に表示してある「識別マーク」を参考にしてください。これらのマークの表示があるものはそれぞれに分類することで再資源化が可能です。この識別マークは、平成3年10月に施行された「再生資源の利用の促進に関する法律」（略してリサイクル法）でスチール・アルミ缶が、平成5年からペットボトルが、平成13年からはプラスチック製容器包装と紙製容器包装への識別マークの表示が義務化されました（飲料、酒類、しょうゆ用でも150ミリリットル未満のペットボトルは識別マークの表示義務がないため、表示されていない商品もあります）。

マークの横や下に使われている部分を表示しているので、どの部分がプラスチックで、どの部分が紙なのかは識別マークを見ることで分かります。

飲料・酒類用のアルミ缶
であることを示しています



飲料・酒類用のスチール缶
であることを示しています

紙製容器包装
であることを示しています

プラスチック製容器包装
であることを示しています

資源として回収が可能のペットボトル
識別マークの「1」の数字が資源となるペットボトルを表します（PETはポリエチレンテレフタレートの略です）

資源として回収しないボトル

ペットボトルのマークには、数字が1から7まであります。この数字は識別マークと勘違いされますが、これらはプラスチックの材質を示す材質表示マークです。現在ではあまり使用されていませんが、これらのマークのついたボトルは再資源化できないのでペットボトルとしては回収しません。

ゴミの出前講座

どうなっているの、聞かせて

沢内地内でのゴミ収集は日程の変更だけではなく、収集方式が業者委託となるなど内部での仕組みも変わりました。

ゴミに関する出前講座は4月から6月まで9会場で行われました。各会場にたくさんの参加者が集まり「これはどのように分別するのか」など実際に品を持って確認するなど、分別についての感心が高いことが伺えました。

また収集日についての質問も多くだされました。

このページでは、出前講座で質問の多かった事項について、生活環境課が回答したものです。

長瀬野地区での出前講座の様子

? 沢内ではどうして燃えないゴミや資源ごみは月1回の収集になったのですか。

? 最近は分別するとプラゴミが多くなってきている資源ゴミをもっと多く回収して欲しい。

回答 今年の3月までは、旧沢内村地区を3つの地区に分けて、それぞれ週に1回の燃えるゴミの日と燃えないゴミの日にあわせて、資源ゴミの収集を行なってきました。

ご指摘のとおり4月からは燃えるゴミが週に2回、燃えないゴミや資源ゴミが品目ごとに月1回の収集となっています。

この収集日の変更については、限られた収集日数の中でどこに収集の重点を置くか、ということを考えた結果、一番多く出るゴミが生ゴミや紙くずといった「燃えるゴミ」なので、燃えるゴミの収集日をこれまでの週1回から週2回に増やし、その他の燃えないゴミ、資源ゴミについては、収集品目ごとに月に1回の収集として、町で案を作成しました。

この案をもとに、沢内村公衆衛生組合連合会の役員会や組合長会議で話し合いをしていただき、平成18年度についてはこの案で取り組んでみることになりました。

平成18年度については、既に配布しているカレンダーで収集しますが、来年度以降については、皆さんからのご意見やゴミの状況をみて決めていくことにしています。

? 指定ゴミ袋は、『湯田町指定ゴミ袋』『沢内村指定ゴミ袋』どちらも使えるのですか。

回答 現在、指定ゴミ袋については、「湯田町指定ゴミ袋」、「沢内村指定ゴミ袋」とそれぞれ販売されています。「湯田町指定ゴミ袋」は旧湯田町の地区でだけ、「沢内村指定ゴミ袋」は旧沢内村の地区でだけ使うことができます。

現在、新しい「西和賀町指定ゴミ袋」を用意しており、旧町村の指定ゴミ袋の在庫がなくなり次第、「西和賀町指定ゴミ袋」に切り替えることにしています。

「西和賀町指定ゴミ袋」に切り替わった場合でも、家庭にある指定ゴミ袋はこれまでと同様に使うことができます。

なお、平成18年4月から、旧沢内村の地区でも、指定ゴミ袋は一般の小売店で販売しています。また「西和賀町指定ゴミ袋」は、町内どこの販売店でも購入できるようになります。

? 事業所からのゴミの排出がたまにみられるのですが、事業所のゴミを家庭ゴミと一緒に出してもいいのですか。

回答 事業所はもとより、住宅と店舗が一緒になっている場合でも家庭部分から出されるゴミ以外は事業所系のゴミとして出すことになっています。

事業所から排出されるゴミは、家庭ゴミに出さないようにしてください。

ゴミ収集の現場で働く人たち

湯田地内には145、沢内地内には92の収集所があります。

この収集所を巡回し収集作業を行うのが、湯田地内は加藤作男さん（湯田）、竹澤健作さん（槻沢）と山田倭文子（左草）さん。そして沢内方面は新田美津男さん（長瀬野）、深澤久一さん（太田）、小田島周作さん（新町）の6人です。

通常は、午前8時頃にそれぞれ出発し、ゴミ収集作業を開始します。湯田地内、沢内地内も収集するゴミの種類によって収集車を2台にしたりと、効率よく回り収集していきます。

●収集作業31年目

加藤さんは、収集作業に携わり31年目。「ゴミの収集は毎年面倒で厳しくなっている。自分としては、出されたゴミは全部収集する気持ちでやっているが、受け入れ先はそうではない。北上市の清掃所に持っていくと検査があり、案の定『持って返れ』と言われる。係員からも『湯田からくるやずいっつもざまだ』と言われることが何度もある」と苦笑い。

●沢内地内で収集日変更

収集方式については合併後の今年4月から湯田方式に統一されたことから、沢内のゴミ収集日が大幅に変更されました。住民からはとまどいの声もあるそうです。また、心配でゴミ収集時間に収集所で待つ人もいるようです。

深澤さんは「沢内では収集日が変わったので、まだ戸惑いがあるようだ。徐々に慣れてくるだろうが、収集日を勘違いして出す方がまだ多い」と話します。

●たった一つされど一つ

例えば、資源ゴミとなる缶の袋に、ビンが一つあっただけで、またペットボトルの袋に一つだけキャップがしてあっても回収しません。

その理由は、以前は収集したゴミを清掃センターで分別作業が出来ました。そのため、ある程度は違うゴミが混じっていても収集し分別することができました。しかし燃えるゴミはダイオキシンの関係で湯田、沢内の焼却場は使用できません。そのため資源ゴミも含めて北上市清掃事業所に回収されることになったからです。

『その場でやって欲しい』というかもしれません。しかし時間内に作業を終了し、その日のうちに北上までゴミを届ける必要があり時間的な余裕はありません。

新田さんは「（多少違うものが混じっていても）心情的には回収したいがそれは出来ない。シールに書いて置いてくる。やはり決まりは決まりだから」と心情を語ります。

水切りをして

ゴミ収集所には、しっかりと水切りをしないものが多く出されます。また残ったジュースなどをそのまま出しているのもありました。資源ゴミは、水洗いをして出すことが原則です。

これからの時期は、夏本番を迎えさらにビール缶、ジュース類などペットボトルが多くなると予想されます。缶だけに限りませんが、十分に水切りをしてから出してください。

分別は家庭から

ゴミは分別することで、ゴミではなくなります。そのため、各々で自覚をもって家庭内で分別し収集所に出す必要があります。

シールはしかたなく

作業員の方々は、出来れば全部収集したいという気持ちで作業にあたっています。残されたゴミはやむなく置いていきます。

これは、ゴミ収集の方法や制度が変わってきているためです。皆さんのご理解をお願いします。

沢内地内での収集の様子

▲やむなくシールをはります

▲一つだけキャップがしてあり回収出来ませんでした

湯田地内での収集の様子

これはどっち？ゴミ区分の一例 （出前講座で出された質問の品など）

燃えるゴミ（赤いゴミ袋に）

ビデオテープ

サンダル

長くつ

ズック

ミニDVテープ

オーディオテープ

花火

※使用後、水でよく濡らしてから

資源ゴミ（青いゴミ袋に）

ねりチューブ

空き缶

※フタがくっついていればそのまま資源ゴミ

空き缶

空き缶

※フタが分かれていれば本体は資源ゴミ、フタは燃えないゴミ

ソース

液体クリーナー

※よく洗ってください。

※キャップ、中ブタを取ればそれらはプラ（資源ゴミ）に、びんはガラスびんに。

薬の空

マヨネーズ

※キャップ、中ブタを取ればそれらはプラ（資源ゴミ）に、本体は汚れが落ちればプラ（資源ゴミ）に、落ちなければ燃えるゴミ。

※つぶした場合は燃えないゴミ

空き缶

ペットボトル

アルミ缶リサイクル協会やPETボトルリサイクル推進協議会のホームページでは、容器をつぶしてゴミに出す方法が紹介されていますが容器はつぶさずに出してください。

つぶすことで再処理過程で問題が発生するためです。どうぞご協力をお願いします。

つぶした場合は、どちらも燃えないゴミに出してください。

粗大ゴミ

乾電池

角スコップ

雪ベラ

スノーダンプ

燃えないゴミ（青いゴミ袋に）

画びょう

弁当のアルミ皿

粉石けんの計量カップ

植木鉢
※プラスチック、陶器とも

インクカートリッジ

血圧測定器

スプレー缶
※必ず本体に穴を開けてください。

クレンザー

移植ベラ

ひげそり

かさ

蛍光ペン

ボールペン

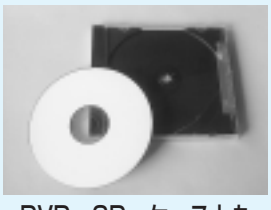
マジック

コード

コンピュータのケーブル

シャープペンシル

フロッピィディスク


DVD・CD・ケースとも

額縁

ハンガー
※プラスチック、針金とも

車のブラシ

蛍光灯

100円ライター

歯ブラシ

つぶした缶

つぶしたペットボトル

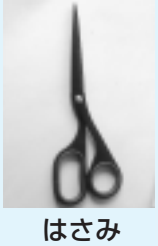
※つぶさなければ資源ゴミ

※紙に包んで「危険物」と表示してください

割れたガラスやコップ

包丁

カッター


はさみ

行政改革審議会開催される

会長に為田直助さん

このたび西和賀町行政改革審議会が設置され、5月30日に第1回審議会が開催されました。

当日は、町長から各委員に対して委嘱状が交付された後、委員の互選により会長に為田直助さん（新町）、副会長に田口光昭さん（湯本）が選出されました。委員の任期は平成20年5月29日までの2年間です。

西和賀町行政改革審議会は、町長からの依頼により西和賀町の行政改革の推進に関して調査・審議を行って意見を出す機関で、今回の依頼は、

1. 西和賀町行政改革大綱の策定に関すること
2. 西和賀町行政改革実施計画（集中改革プラン）の策定に関すること
3. その他、行政改革の推進に関すること

の3項目です。

辞令書を受け取る高橋清一郎さん

12月までに大綱策定

会議では、行政改革に関しての国や県の動きが事務局から説明され、続いて今後の審議の進め方やスケジュールが協議されました。

それによると、審議会の開催回数は7回程度で、9月に中間答申として行政改革大綱の素案を示し、11月下旬には最終答申を行うこととしています。

町ではその答申を受けて、12月には西和賀町としての行政改革大綱及び実施計画（※集中改革プラン）を策定し、公表する予定です。

為田会長

委員からは会議回数が足りないのではないかという意見も出されましたが、審議の状況を見ながら、必要に応じて追加をすることでスケジュールを確認しました。

また、行政改革大綱の素案については住民に公表し、素案についての意見や提言を募集するほか、住民公聴会などを開催して、行政改革大綱の策定に、住民の皆さんからも参加していただくよう配慮することとしています。

会議はその後に、事務局から平成18年度の町の歳入歳出予算の状況や財政の現状などの説明があり、次回の協議内容等を確認して閉会しました。

審議会は、次回の会議から実質的な審議を行い、行政改革大綱素案の策定作業に入ることにしています。

※集中改革プラン

国が全ての自治体に対して策定を求めている行政改革に関する計画。住民にわかりやすい具体的な目標数値などを設定し、公表することとしています。

西和賀町行政改革審議会委員名簿

（敬称略、あいうえお順）

役職	委員氏名	地区名
会長	為田直助	新町
副会長	田口光昭	湯本
委員	家子勝也	湯本
	石川紘一	大野
	加藤茂	新町
	木村幸男	北上市
	小林里美	湯本
	佐々木正勝	前郷
	菅原久子	川尻
	高橋清一郎	下前
	高橋弘	巣郷
	廣田宏	太田

5/27

湖水まつり

メインの花火で魅了

錦秋湖マラソンの前日に行われた第27回錦秋湖湖水まつり。マラソン大会の一年前から実施されています。

もともとは、川尻商店会や商工会のメンバーなどが中心となり、湖を活かしたまつりができないかということで、錦秋湖で花火を打ち上げることにしたのがきっかけ。

湖水まつり実行委員会（山本雅彦会長）では、正確な入り込み数を集計していませんが、マラソンの前日に行われていることでその選手や家族なども含め来場者は数千人に上っていることは間違いありません。

当日は、様々なイベントが行われまつりは大いに盛り上がりました。

湖上遊覧

モーターボートなどで錦秋湖をぐるりと一回りする湖上遊覧。湯田庁舎の下側にある川尻小公園を発着所に、オロセの吊り橋付近までの一周コース。船は水しぶきを上げ、湖上を疾走し、乗客らはとてもきもち良さそうでした。普段見ることができない景色を見ることが出来るとあって大人気で、会場では順番を待つ長い列ができました。

また、今年は江戸時代に北上川で使用されていた小繰舟（輸送船）を復元建造した「ごんべい丸」がお目見え。まつり初日は一般向けに披露され、マラソン当日に一般試乗を予定していました。しかし、マラソン当日は風雨のため運航は中止され、試乗を楽しみに待つ方も残念そうにしていました。

湖上遊覧はモーターボートで気持ち良い

御輿渡御（みこしとぎょ）

午後4時からはほっとゆだ駅前を神輿が出発。小雨をものともせずに、担ぎ手は「セイヤ、セイヤ」と威勢の良い声を出し、体から湯気を出すほどの熱気とともに川尻地内を練り歩きました。

運航が中止となったごんべい丸

威勢のいい声で「セイヤ、セイヤ」

花火打ち上げ

午後7時30分からは、湯田庁舎付近の川尻小公園で鬼剣舞が披露され、花火打ち上げのオープニングを飾りました。風が強く、打ち上げも心配されましたが予定どおり午後8時からは、湖上から花火が打ち上げられました。

名物となった湖上からの花火と、県内でもいち早い打ち上げ花火として、県内外から観客が訪れます。およそ、1時間にわたり、37種目大小2000発の花火が打ち上げられ、その花火は湖面に反射し、静寂の中での大きな音とともに幻想的な輝きを演出しました。見事な花火が打ち上げられる度に、歓声がわきました。

名物の湖上花火

5/28

錦秋湖マラソン

小雨の中号砲 1807人がゴールを目指す

錦秋湖マラソンは、日本陸上競技連盟公認のコースで30キロ、ハーフ（21・097キロ）、10キロのコースがあり、満16歳以上の方であれば自分の体力や健康状態に合わせて出場できます。

今年も、北は北海道から南は九州まで2045人の参加申し込みがありました。

大会当日は小雨で風もあり、気温は16・4度、湿度は82%、風速は東南東の風3メートルでした。9時から始まった川尻体育館での開会式では、町長が参加選手に激励の言葉をかけました。

応援する側からは「肌寒く風が強い」などの声がありましたが、参加者からは「このくらい寒い方がちょうど良い。雨はあまり関係ない」「雨がどしゃ降りだと靴がぬれるが、この程度ならば大丈夫だ」「暑いよりは、今日の天候の方が良い」などとこの天候を歓迎する選手も多くいました。

レースは午前10時には30キロとハーフがスタート。五分遅れで、10キロがスタートしました。受付を済ませた1807人が小雨降る中、新緑映える錦秋湖畔を駆け抜けました。時間内にゴールしたのは1627人。雨のため、ユニフォームもびしょぬれでしたが、どの選手も満足げでした。

沿道では、各地区の皆さんはもとより、湯田地区では恒例の湯田子供太鼓、また新町地区では今年初めてさわうち太鼓百年座と子供太鼓による応援が行われ大会を盛り上げました。

また、大会は多くのボランティアによって支えられています。消防団を始め、地区の方々、湯田中学生なども協力し大会運営にあたりました。

国道を通行止にしてスタート

中学生も大忙し（ゴール付近）

太鼓による応援（新町にて）

保健師による血圧測定サービス

おつかれさまでした

町内出場選手の結果（敬称略）

登録時に西和賀町の住所で登録した方で時間内にゴールした方

◆10Km女子40歳代
柏崎　美恵子（湯　田）・59分02秒

◆10Km女子50歳以上
高橋　今子（新　町）・1時間2分6秒
藤田　陽子（川　尻）・1時間7分41秒

◆10Km男子30歳代
梅川　洋（川　尻）・46分58秒
高橋　則文（猿　橋）・52分30秒
佐々木　保弘（太　田）・1時間8分26秒

◆10Km男子40歳代
宇都宮　浩人（左　草）・35分40秒
黒澤　清（左　草）・52分5秒
加藤　正男（湯　田）・54分41秒

◆10Km男子50歳代
深澤　武志（太　田）・47分24秒
藤原　宗男（川　尻）・50分29秒
高橋　真（耳　取）・56分18秒
菊池　二三夫（川　尻）・58分51秒
野澤　忠司（槻　沢）・1時間1分23秒
菅原　通（湯　田）・1時間4分30秒

◆10Km男子60歳代
高橋　崇雄（長瀬野）・47分47秒
平沢　安保（泉　沢）・48分32秒

（◆10Km男子60歳代）
神成　繁（上野々）・48分40秒
高橋　政信（野々宿）・52分9秒
高橋　周作（川　舟）・53分18秒
高橋　弘紀（湯之沢）・57分19秒
梅川　良一（川　尻）・58分25秒
小田島　多喜雄（湯　本）・1時間3分08秒

◆10Km男子70歳以上
加藤　善三郎（前　郷）・54分34秒
高橋　昭（湯　田）・57分59秒
藤原　定雄（左　草）・1時間2分19秒
南川　一幸（湯　田）・1時間8分26秒
羽柴　重人（川　尻）・1時間16分44秒

◆30Km一般男子
新田　康行（両　沢）・2時間17分27秒
山崎　浩行（湯　本）・2時間25分10秒
藤戸　一栄（湯　本）・2時間41分3秒
小野寺　政雄（耳　取）・2時間52分35秒

◆ハーフ一般男子
畠山　直人（下　前）・1時間49分47秒
高橋　伸（前　郷）・1時間57分51秒
柳沢　慎（湯　本）・2時間1分37秒
菊池　啓二（中　村）・2時間6分27秒

西和賀商工会通常総会 会長には佐藤氏再任

5月22日湯夢プラザで西和賀商工会の通常総会が行われました。総会には委任状も含めて、会員288人のうち217人が出席しました。

総会では、旧商工会の事業報告や収支決算、18年度事業計画の一部改正など10件の議案を原案どおりに可決しました。

また、任期満了に伴う役員改選も行われ、会長には現職の佐藤一久さん（大沓）が引き続き会長に選出されました。また副会長には高橋繁廣さん（湯川）、照井富太さん（太田）の2人が選出されたほか、理事15人などを選出しました。

役員の任期は6月1日から3年間。

総会の様子

高橋周作さんと高橋崇雄さん 50㌔を見事完走

5月21日、西和賀町などが共催する「第2回いわて銀河100ｋｍチャレンジマラソン大会」が行われ、本町からは高橋周作さん（川舟）と高橋崇雄さん（長瀬野）が50㌔の部に出場しました。

100㌔の部は北上総合運動公園を午前4時、50㌔の部は分訳のふるさと会館前を午前10時にスタートし、制限時間内に雫石総合運動公園のゴールを目指す長丁場のレースです。

ふるさと会館前での50㌔の部の開会式では、周作さんが「50㌔という気の遠くなるようなみちのく路を、夢に向かい元気いっぱいに走りぬきゴールすることを誓います」と力強く選手宣誓しました。

そして午前10時、68人の選手が一斉にスタート。町道東側幹線を川舟まで北上し、銀河なめとこラインから来た100㌔の選手と合流して県道に入り、一路ゴールを目指して力走しました。

その結果、周作さんは「参加したきっかけは、どれだけ走れるか試したかった」として6時間18分40秒で、崇雄さんは「周作さんに勧められ、自分の限界を知りたかったので出ることにした」と話し5時間16分9秒で、それぞれ完走しました。お二人ともフルマラソン経験者で、この大会には昨年に引き続き2回目の出場となりました。

力走する周作さんと崇雄さん（右）

西わらびをブランドに 出荷目揃会で確認

5月26日湯夢プラザで、「西わらび」出荷目揃会が行われ関係者などおよそ30人が参加しました。

旧湯田町では、減反による休耕田を利用し5年前からわらび栽培に取り組んできました。この栽培したワラビを、西わらびというブランド名で市場に出荷し、安定した市場への供給と農家収入を図ることがねらいです。

西わらびは、太くて粘りのあるおいしいワラビとしてイメージが定着しており、実際に高値で取引されています。そのため、西わらびの商品イメージを持続していくために品質を保持し市場や消費者の信用を得ていく必要があります。

この日は、西わらびとしてのブランドを維持してくための出荷（集荷）規格について（株）湯田産業公社の藤原勝副部長から説明があったほか、西和賀普及サブセンターの田替美佳農業普及員から今後の栽培管理などについて指導がありました。

その後、参加者らで栽培と天然ものを試食しました。

参加者からは「どれが栽培ものかわからないほど質が良い。天然との違いが見つからない」などの声がありました。

熱心に聞いている参加者

長原牧場で開牧 初日に58頭

5月22日新町にある町営の長原牧場が開牧しました。

長原牧場では、5月から10月までの期間、牛を預かり放牧状態でのびのびした環境で牛を育てます。利用料金は、一頭あたり1日60円から150円で、およそ47ヘクタールの土地に放牧されます。

この日に収容されたのは58頭。長原牧場の収容頭数は75頭で、預けることができるのは大野地区から丸志田地区までの方で、それより北の方は貝沢牧野に放牧することになっています。

管理する農林課では「種付きがよくなるし、牛舎飼いに比べ飼育費が安くなる」などとその良さを話しています。

次々に牛が収用されました

死亡事故ゼロ1000日 6月4日記念式典

旧沢内村で平成18年5月22日に交通死亡事故ゼロ1000日を達成しました。このことから5月22日湯田庁舎で、岩手県安全対策協会の増田寛也会長（代理者）から、西和賀町交通安全対策協会長の町長に表彰状が伝達されました。

西和賀町交通安全対策協会では公的な立場から交通安全を推進する団体で各自治体に設置されています。

町長は「今回の受賞を励みに2000日、3000日と記録を更新していきたい。また行政としてもその努力をしていきたい」と抱負を話していました。

この交通死亡事故ゼロ記録は、旧湯田町では平成18年3月3日に1000日を達成しています。今後の西和賀町としての統一記録は、今回の記録から更新されることになり、5月23日が1001日目と記録されることになりました。

また、6月4日沢内農業者トレーニングセンターで記念式典が行われ、関係者や住民などおよそ300人が参加しました。アトラクションでは県警音楽隊などが式典を盛り上げました。

皆さんも交通事故には十分に気をつけましょう。

県警音楽隊によるアトラクション

環境整備事業の一環 湯の華会がお花飾り

湯の華会（高鷹峰子会長・湯川）では、平成18年度事業の一つとして5月23日にほっとゆだ駅周辺の街灯などに花を飾る環境整備事業を行いました。

湯の華会とは、町内の旅館の女将さん20人あまりが会員となっている団体です。

当日はハンギングバケットというつり下げ式のかごに、ベコニアやワイヤープランツ、フェシリアを植えて、観光商工課職員と共同で街灯などにつり下げました。

また、プランターにはカメルーンデージーなどを植え、商工会館前に設置しました。

会長の高鷹さんは「この事業は、花づくり講習会と環境整備を兼ねて今年初めて行った。花は、秋頃まで咲くのを選んだ。次年度以降も続けていきたい」と話していました。

同会では研修などの事業を通して会員相互の親睦と交流を図る事にしています。

「こんな感じでどうかしら」

住みよい郷土を目指し 交通安全祈願祭

6月11日猿橋地区のやまびこ館で、猿橋交通安全祈願祭が行われ、関係者や地区住民など50人が集まり交通安全を祈願しました。

同地区は、交通量の多い盛岡横手線の道路沿いで、道路を横断する女性が車にはねられるなど事故が多発しています。これは交通量に対して道路が狭いことや起伏があることも原因ですが、より地域住民の交通安全に対する意識啓発を高めるのがねらい。

そのため今年3月の行政区通常総会の場で、道路整備の要望などの他に、地域で出来ることはないかと模索し、実行委員会を組織しこの度の祈願祭につながりました。

実行委員会会長の高橋善一行政区長は「この交通安全祈願祭を通じて、交通事故はもとより犯罪のない、住みよい豊かな郷土を目指したい」とあいさつしました。

また、北上地方交通安全協会沢内支会長の佐々木孝治さん（前郷）によると「巣郷では、毎年8月に国道107号での事故者に対する供養が行われてるが、沢内地区での地区の安全祈願はこれが初めて。なによりも、事故を起こさないという気構えが大切だ」と話していました。

交通事故をなくしていこう

自衛官募集で辞令書 4人が任命される

辞令を受ける加藤さん（右）

平成18年5月31日に湯田庁舎会議室で、自衛官募集相談員に対する辞令交付式が関係者の出席のもと行われました。

今回任命されたのは、再任で加藤博市さん（新町）と高橋稔さん（左草）。そして今回新たに佐藤一雄さん（泉沢）と門脇和男さん（湯田）の4人が任命されました。任期はそれぞれ2年。

活動内容は、主に自衛官の募集に関し、住民からの相談窓口となります。

加藤さんが「自分の息子が入隊したことをきっかけにし、募集員をしてから十数年になる。自衛隊では日本の防衛もさることながら、山火事や災害地での迅速な救助活動など町や村の為に尽くしている。昨年度は西和賀町から7人が自衛隊に入隊した。これからも、他の募集員とも協力しあいながら頑張っていきたい」と代表して意気込みを語りました。

自衛隊のことや自衛官の募集に関して、相談員までお気軽にご相談ください。

6月10日は商工会の日 作業に汗を流す会員

6月9日・西和賀商工会会員による花植えが「商工会の日」にちなんで行われました。

現在の商工会法の元となる「商工会の組織等に関する法律」が昭和35年6月10日に施行されたことから、昭和60年に全国商工会連合会が6月10日を「商工会の日」と制定したものです。

これに合わせて西和賀商工会では、青年部と女性部が中心になって沢内病院周辺の花壇整備、ほっとゆだ駅周辺でのプランター設置などの作業で汗を流しました。

当日は20人ほどが参加し、「きれいな花が咲きますように」と祈りながら作業をしていました。

沢内病院の入り口で

やったぜ西高漕艇部 10年連続全国へ

男子シングルと女子クォドルプルで優勝

2クルーがインターハイへ

男子シングルスカルの決勝戦

女子クォドルプルの決勝戦

岩手県総合体育大会ボート競技が、錦秋湖を舞台に6月2日から4日まで開催されました。この結果、大会に出場した西和賀高校漕艇部のうち2クルーが優勝し全国大会（インターハイ）に出場することになりました。また、学校別対抗では男子が総合2位、女子が総合4位と健闘しました。

西和賀高校漕艇部としてインターハイへの出場は今回で10年連続となりました。

ボート競技の方法

ボート競技は一人乗りの「シングルスカル」、二人乗りの「ダブルスカル」、漕ぎ手が4人で舵取り（コックス）が一人の「舵手（だしゅ）付クォドルプル」の3競技が男女それぞれにあり、1000メートルの距離をいかに早く漕げるのかを競いあいます。タイムレースではないため、あくまでその組で何位なのかが勝敗の分かれ目になります。そのため、勝ち残るためには選手の調子もさることながら組み合わせも重要な要素になります。

大会の様子

初日の3日は開会式と予選が行われ、2日目は、敗者復活戦と準決勝が行われました。最終日には、決勝戦がそれぞれ行われました。

開会式が行われた川尻体育館では、高橋町長が「自分の力を徹底的に伸ばし、自分の力を信じて、決してあきらめないnever give up（ネバー ギブアップ）の精神で最後まで競技して欲しい」と選手を激励しました。

競技のあった3日間は、風が強く、波も立っていましたが晴天に恵まれ、最終日の決勝戦では地元の声援にも力が入り、その声援は西和賀の山々にこだましました。

また、選手もその応援に応えようと最後まであきらめずにオールを漕ぎました。

大会を終え、岩手県高等学校体育連盟の漕艇競技の専門部長である菅原通西和賀高校校長は「皆さんに会うのは昨年の新人戦以来だが、力強さとたくましさを感じた。この1年間厳しい練習を積んできたんだなと感じた。特に決勝戦の6レースは、迫力とスピードがあった。インターハイに出場するクルーにはぜひ頂点を目指して欲しい。

また、敗退したクルーも捲土重来を期して頑張って欲しい」と大会を振り返りました。

優勝して、そしてインターハイに向けて一言

●男子シングルスカル優勝
伊藤和法君（3年・新町）

「いつもどおりの平常心で大会に臨むことができました。結果は満足していますが、インターハイで上位を目指すには、もっと漕ぐ技術や体力をつけていかなければなりません。とにかく、インターハイでは行けるところまでいきたい」

●女子舵手付きクォドルプル　優勝

▼土井春香さん（3年・長瀬野）

「緊張しすぎました。一年前からコックス（舵手）ですが、今日のレースは風がつよく舵取りも難しかったです。今後は、もっとスタート練習に力を入れていく必要があると感じました」

▼高橋美知子さん（3年・湯田）

「去年の大会では、ダブルスカルで2位で悔しい思いをしました。今回はあまり良い漕ぎができたとは言えませんが、最後の最後で応援の声に応えることできて良かったと思います。今後は、まだまだ4人の漕ぎのタイミングにずれがあるので、チームワークをさらに強くしていきたいです」

▼高橋杏奈さん（3年・湯之沢）

「今まで優勝した経験が無かったので勝ててうれしいです。また、このクルーのみんなとインターハイに出場できるのがうれしいです。自分としては、もっともっと漕ぐ技術を磨いてインターハイに臨みたいです。また、応援にも感謝しています」

▼松本久美さん（3年・横手市）

「まだ優勝したという実感がありません。去年ボート部に転部し、力不足のところもありましたが、この大会で優勝できたことがうれしいです。インターハイでは、みんなで力を合わせてがんばります」

▼高橋佳寿子さん（3年・下前）

「一年生の時にクォドルプルで負けているので、今回はリベンジのつもりで頑張りました。緊張しましたが、自分なりに良い漕ぎが出来たと思います。インターハイでは、試合前のメンタル面をもっと強くしていく必要があると感じました」

5人とも声をそろえて、インターハイでは決勝進出を目指し、3分40秒台を狙うと話をしていました。

東北大会に出場

今大会で優勝したクルーにはインターハイの挑戦権が与えられます。

惜しくも2位、あるいは3位になったクルーは東北大会へ出場することができます。

東北大会には、女子舵手付クォドルプル・男子ダブルスカル・男子シングルスカルの3クルーが出場します。

会場は秋田県大潟村の秋田県中央幹線排水路大潟ボートコースで6月23日から25日の日程で行われます。

【東北大会出場クルー】

・男子シングルスカル

・女子舵手付クォドルプル

・男子ダブルスカル　2位

佐々木優真君（2年・北上市）と高橋信明君（3年・北上市）

そのほかの西和賀高校の競技結果（県大会入賞者のみ）

■陸上競技（北上総合運動公園陸上競技場）

男子100m

8位　高橋剛士君（3年・新町）　11秒68

女子3000m競歩

7位　後藤成美さん（2年・金ヶ崎町）17分59秒52

◀女子クォドプルのクルー　右から杏奈さん、松本さん、土井さん、佳寿子さん、美知子さん

▶男子シングルスカル　伊藤君

06総体ＴＨＥ近畿

平成18年度全国高等学校総合体育大会は「06総体ＴＨＥ近畿」の愛称で大阪府を主会場に8月1日から9月25日までの日程で行われます。スローガンは、「君がひかり近畿の空は青くそまる」。

ボート競技は、8月1日～5日の日程で、滋賀県立琵琶湖漕艇場で行われます。

ダブルスカル決勝戦の高橋君（奥左）と佐々木君

通信陸上北上予選
7種目で県大会へ

岩手県中学校通信陸上北上地区大会が6月4日北上総合運動公園陸上競技場で行われ、湯田中と沢内中から多くの選手が出場しました。

この大会では、各種目の3位までと北上地区以外で行われる地区大会の県内集計20位までが県大会に進出できます。県大会は7月1日から2日にかけて同競技場で行われます。

また800メートルに出場する高橋直寛君の記録は、県内集計の3位になっており県大会の上位入賞が期待されています。

参加選手への応援をお願いします。

県大会入賞の期待がかかる直寛君
写真：岩手日日新聞社

大会結果（県大会出場者）

【男子】

■800m　2位・高橋直寛君（湯田中3年・上野々）2分11秒06

■3000m　2位・佐々木涼太君（沢内中3年・前郷）10分14秒76

■幅跳び　4位・刈田翔君（沢内中3年・新町）5m54cm

【女子】

■100m　1位・平澤凛（りん）さん（沢内中　1年・泉沢）14秒19

■低学年400mリレー　2位・沢内中（石川千尋さん・2年・若畑、加藤育（はぐみ）さん・2年・新町、福田さやかさん・1年・貝沢、平澤凛さん）55秒78

■800m　2位・刈田丞美（つぐみ）さん（沢内中3年・川舟）2分34秒84

■1500m　2位・佐藤藍さん（湯田中2年・下前）5分19秒68

小学生大会も同日に
2選手が県大会へ

全国小学生陸上競技交流大会岩手県大会北上地区予選も同会場で同日行われ、次の2人の選手が7月29日に同会場で行われる県大会に出場します。

大会結果（県大会出場者）

【小学校男子6年100m】3位
斉藤未散君（川舟小）14秒41

【小学校女子5年100m】3位
刈田ルルさん（沢内一小）15秒71

古澤邦廣さん
行政相談委員で感謝状

行政相談委員の古澤邦廣さん（新町）が、岩手行政評価事務所長から感謝状を授与されました。

古澤さんは「除雪や橋の修理といった身近な相談事を受けてきた」と話しています。

行政相談委員は、役所や公団が行う仕事についての苦情を解決し、住民の声を行政運営の改善に役立てます。町には、古澤さん（新町）以外に須藤繁さん（上野々）の2人が委嘱されています。

これからの農業
品目横断的経営安定対策のポイント……①

国では平成19年度から、これまでの全農家を対象に品目ごと（米なら米へ）に実施してきた対策を見直し、個々の経営に着目し、しかも意欲と能力のある担い手を対象に限定した対策に切り替えることとしています。

この制度のポイントと町の取り組み方について、今月から3回に分けてお知らせします。

○制度の背景

外国の農産物に対抗していくためには、担い手を中心とした効率的な農業生産を進めていくことが重要な課題であることから新たな施策を行なうものです。

○支援の対象

これまでは……全農家を一律とした施策

19年度からは……

意欲と能力のある担い手に限定

＊認定農業者及び一定の条件を備えた集落営農で次の経営規模のもの

①認定農業は4ｈａ以上

②集落営農は20ｈａ以上

※一部、特例もあります。また、環境規範を遵守する必要があります。

○支援の内容

これまでは……個々の品目ごとの価格に着目した支援

19年度からは……

品目別の価格政策でなく、経営全体に着目した政策に一本化（ただし現在のところ対象品目としては、米・麦・大豆・てん菜・ばれいしょとされている）。対象農家の所得減少に対して支援されます。

＊ なお、米の生産調整対策については、全農家を対象に引き続き実施されることになっていますが、予算については縮小される見通しとなっています。

お問い合わせ先：農林課（沢内庁舎）
☎85－3415

桑原イト子さん AED1台を町に寄贈

AEDを手渡すイト子さん

桑原イト子さん（前郷）が6月5日に湯田庁舎を訪れ、AED1台を町に寄贈しました。桑原さんは、県職員として勤めていましたが、自宅が都市開発で移転する必要があり、仕事との関係もあった旧沢内村に移住しました。

桑原さんは「他の自治体では学校や公民館にも備えられていると聞いています。沢内病院にもあるようですが持ち歩けないとのことでした。いろいろな面で地域のみなさんにお世話になっているのでその恩返しのつもりで寄贈させていただきました」と寄贈のきっかけを話します。

これに対し町長は「職員はもとより、地域住民の皆さんにも機械の操作方法を覚えてもらい、救急救命のために役立てていきたい」と利活用に向けた抱負を述べました。

AEDの導入は町としては始めてで、沢内庁舎におかれ万が一の事態に備えられます。

AEDとはAutomated External Defibrillatorの略で、自動体外式除細動器などと略されます。

つまり、意識がない、脈がないなど心停止などの場合に応急的に使用される心肺蘇生装置の一つです。

細かく動くのを除くと書く除細動器は、心臓疾患などで心臓が細かく震えて血液を送り出すポンプの機能が失われた心臓に対し、一時的に電気ショックを与えその震えを取り除き、心臓の正常な動きに取り戻します。

この細かく震える心室細動は、除細動を行わないと取り除くことができません。より早く装置を使うことで、生存率も高まります。

そして音声ガイダンスでの操作案内や操作をより使いやすくし、誰しもが使うことを認められています。

今までは、除細動器を使って心肺蘇生を行うことは医療行為ですので、医師や医師の指示で看護師が行うことしか出来ませんでした。しかし、平成15年4月からは、救急現場や救急搬送時に救急救命士の判断で、この装置の使用が認められました。

また、平成16年7月からは、医師、救急救命士などの医療従事者だけでなく、救急救命士以外の消防職員や一般の使用が認められました。

東北電力で街路灯13基を寄贈

目録を手渡す日野所長

先頃、東北電力株式会社北上営業所の日野正衛所長が湯田庁舎を訪れ、13基の自動点滅器付きの水銀灯を寄贈しました。

同社は今までも、地域協調活動の一環として明るいまちづくりに役立ててもらうことを目的に管内の自治体に対し街路灯を寄贈しています。今までに両町村に200基を超す街路灯を寄贈し、各地区に設置されています。

町長は「街路灯の設置は町内各地区からの要望の多い事項の一つ。今回も住民の期待に応えるために、有効に活用していきたい」とお礼を述べました。

また、街路灯の設置は（株）ユアテック北上営業所の三浦千代士所長が無償で設置工事を行うことで、あわせて寄贈がありました。

町では、今後設置場所を検討し有効に活用していくことにしています。

入札執行状況

5月26日執行分（6月9日と14日の入札結果は次号に）

次のとおり入札を行いました。施行箇所などの詳細については、建設課までお問い合わせ下さい。☎82-3288まで

番号：1
工事名：町道安ヶ沢線融雪装置設置設計業務委託
内容：測量業務1式、設計業務1式
契約金額：5,100,000円
契約者：東日設計コンサルタント(株)
工期：H18.6.1～18.9.1

番号：2
工事名：道路台帳補正及び調書作成業務委託
内容：道路台帳図補正1式、道路台帳調書作成1式
契約金額：17,300,000円　**契約者：**北栄調査設計(株)
工期：H18.6.1～19.3.9

番号：3
工事名：町道小田沢線測量設計業務委託
内容：測量業務1式　**契約金額：**1,100,000円
契約者：(株)アクト技術開発　**工期：**H18.6.1～18.7.31

番号：4
工事名：新町流雪溝調査設計業務委託
内容：測量業務1式、設計業務1式
契約金額：1,300,000円　**契約者：**(株)キタテック
工期：H18.6.1～18.9.1

みんなの声

●広報にカレンダーを

「広報にしわが」はいつも楽しみに見ています。新しくなって、一つ困っていることは、沢内病院の診療予定が以前のように載っていないこと。どこかスペースを作ってあのカレンダーを入れていただければ有り難いです。

それから、沢内病院がもっと身近なものになるように先生方や看護師さん、職員の方々を毎月少しづつ紹介して欲しいです。

（長瀬野・女性・60歳代）

●広報の掲載記事に配慮を

5月号に役場職員の「クリーン作戦」の記事が掲載されていましたが、形態は違うにしろ各地区で実施しているので、住民側の部分についても多少ふれても良かったのではと思います。

それに、関連し私の地区では、5月13日に行いましたが集めたゴミが10日間も放置されたままで不快でしたこともお知らせしておきます。

（小繋沢・男性・70歳代）

回答

「カレンダー」の件ですが、旧湯田町ではおしらせ版を発行し、それに町の行事や予防接種などの検診日程を掲載していました。そのため、診療予定についてもおしらせ版に掲載することとして、旧広報さわうちにあったカレンダーは廃止した経緯があります。

広報編集委員会でもより見やすくするため検討し何らかの改善をしていきたいと考えています。

「沢内病院をもっと身近に」の件については、町内には沢内病院だけではなく個人で開業している方もおります。また、病院以外の職員のこともありますので、そのことも含めて広報で沢内病院だけ取り上げるというのは難しいと考えています。どうぞご理解をお願いします。

「クリーン作戦」の記事については、ご指摘のように各地区や学校などで行われていました。もっと住民側の記事を提供するべきだった事を反省しています。（広報編集委員会）

●多すぎる老人の町民税

「昨年まで税金がかかっていなかったが、今年から平成18年度町県民税の納付書が届いた。なにか税法がかわったのか？単なる手違いか？。近くの人に聞くと、収入は変わっていないのに税額が多くなった、と言う人もいる。その辺を教えて欲しい」（太田・男性・60歳代なお同様の趣旨の投書あり）

これについては、25ページで回答します。

●狭い駐車場と喫煙場所

湯田庁舎に用事があって行くと、駐車場が少なく役場の周りを何回も回り探します。職員の車が駐車場の大半を占め、来客スペースが少ない。この対策として川尻公民館や森林組合の駐車場に職員の車を置くようにした方が良いと思う。

また、湯田庁舎に行くと、町民室に「たばこ」をくわえた職員が「たむろ」し、町民が休んだり、利用する所ではなくなっている。いつ行っても長いすにデレ～として休んでいる職員、いつ仕事をしているのか分からない。外からは丸見えだ。庁舎内の全面禁煙を考える時代になっていると思う。（湯田・男性・60歳代）

回答

駐車場につきましては、合併により職員の車通勤者が増えたことや、会議の際の委員などが多くなったことなどから不足する場合があります。時に冬場のスペースが不足しますので、今後検討し改善したいと考えています。

町民室（湯田庁舎1階の正面玄関に向かって左側）の喫煙については、すでに5月の課長会議で禁止をしており、現在職員は使用しておりません、分煙化を実施しており将来的には庁舎内での禁煙を検討しています。

（高橋定信助役）

●有線放送のくらしと健康

旧湯田町には有線放送がありません。おしらせ版の行事をみると「くらしと健康」と題して、ためになる放送をしているようです。おもしろそうなので聞きたいのですが…

（川尻・男性・60歳代）

回答

このことは広報編集委員会でも何度も議題として話題にしてきましたが、今月号から「くらしと健康」の内容を抜粋し広報に掲載することにしました。聞き逃した方もいるかと思います。どうぞ、健康増進のために役立てて欲しいと思います。

なお、有線放送の今後のあり方については、情報化なども含めて検討していきます。

（企画課・広報編集委員会）

●日赤会費とは？

先日、隣組の班長さんが来て「日赤の会費をお願いします」と言うので500円を出しました。これは何の会費ですか。聞くところによると、これを出さない人もいるとのことですが、それでも良いのですか？

日赤の仕事の内容と町内でこれら会費の使い道を詳しく教えてください。

（湯田・男性・60歳代）

回答

日本赤十字社では、世界各地で紛争に苦しむ人や頻発する災害の被災者に救援の手をさしのべる人道的事業を行っています。このような活動を、計画的、継続的に実施するためには、毎年、安定した資金の確保が必要となります。

この資金に充てるため、町民の皆様から「社費」として、年額500円以上の拠出をお願いしています。

また、納めなくてもよいのかとのことですが、事情により納めることができない方からは、頂いておりません。

主な日本赤十字社の仕事としては、①災害救護として、被災地に医療班を派遣したり、救援物資の配布を行っています。②血液事業として、皆様に献血をお願いし、24時間体制で医療機関に血液の供給を行っています。③医療事業として、病院の経営を行っています。④社会福祉事業として、保護者の病気や都合により乳幼児を育てられない方のため、乳児院を運営しています。

次に、町内で社費がどのように使われているかですが、一部事務費を除き全額日赤岩手県支部に送金されます。町民の方が、日赤病院に入院したり、大きな手術で輸血が必要となった場合など、社費は目に見えないところで使用されています。今後とも、ご理解とご協力をお願いします。

（町民課）

●郵便局でも納税を

納税通知書が届いた。合併前の湯田町では、郵便局で納めることが出来たが、西和賀町となってからは郵便局での振り込みができなくなった。なんの事前の説明もなかった。住民サービスの低下ではないか？

（湯本・男性・70歳代）

回答

ご指摘の件ですが、町税の納税は、本来、指定金融機関（西和賀農業協同組合の本所と各支所）及び指定代理金融機関（北上信用金庫・岩手銀行・北日本銀行の本店と各支店）が取り扱うことになっています。そのため、納付書にもこのようにしか記載していません。

しかし、湯本地区においては、平成16年に西和賀農協湯本支店が廃止された経緯もあり、それ以後は湯本温泉郵便局でも納税できるよう特別にお願いしています。そのため、湯本温泉郵便局での納税も可能です。納税の際には手数料は必要ありませんが、納税通知書を必ず持参してください。

また、このことに関して連絡が不十分であったことをお詫びします。

（税務課）

住所や氏名の記載のないお便りが寄せられています。住所や氏名は必ずご記入ください。

POSTCARD

0 2 9 - 5 5 1 2

50円切手を貼ってください

和賀郡西和賀町川尻 40-40-71

西和賀町役場湯田庁舎　広報係　行

ふりがな

氏名

住所　□□□－□□□□

電話

年齢／　　歳、性別／男・女

氏名の記載を

・希望する　・希望しない

みんなの声

お便りを随時募集中!!

1．氏名と住所は、必ずご記入ください。氏名、住所の記載が無い場合は取り扱いません。
2．お寄せいただいた文章は「西和賀町広報発行規定」により公平に取り扱います。
3．文章は、広報編集員会にて広報発行の表記方法にしたがって編集することがあります。
4．氏名、住所、年齢などは原則として広報に掲載しますが、公表したくない場合は「希望しない」を○で囲んでください。

※お寄せいただいたお便りは、すべて掲載できませんので予めご了承ください。

問合先／企画課（湯田庁舎）広報係　☎82－3284

ありがたきかな故郷（ふるさと）

青森県出身 山本文子さん（新町）②

▶勤務先では、誇りを持って医療に従事

「医療従事者として、生命尊重のこの町で、医療に携わる事ができることを大変誇りに思います。これからもこの町の医療、福祉、介護のいったんを担っていけたら良いと思っています」という文子さん。ご家族で沢内に移住し3年目を迎えます。

？あなたの出身地を教えてください。

青森県八戸市（平成17年3月31日に三戸郡南郷村を編入しています）

？現在のお仕事や取り組んでいることを教えてください。

さわうち協立診療所で看護婦師として勤務しています。主に外来の看護業務と在宅訪問診療を担当しています。

？西和賀町に住むようになった理由を教えてください。

主人が以前から沢内村に頻繁に釣りにきており、素敵なところと聞いていました。毎年、家族で銀河高原ホテルに泊まりに来ていました。ここに住めたら良いなと思っていました。

縁あって移住し、職場もさわうち協立診療所に勤務することができました。

？出身地はどんなところですか？

太平洋を望む青森県の南東部に位置します。気候は穏やかで、冬期の積雪は少ないところです、全国屈指の水産都市であり、また東北有数の工業都市です。

？出身地の特産品は何ですか。

南部八戸せんべい、いちご煮、水産物（特にイカ）、南部裂織、つるこまんじゅうなどはいかがでしょうか。

？出身地有名人は。

作家の三浦哲郎さん、教育者の羽仁もと子さん。そしてタレントの田中義剛さんですね。

？出身地の名所や観光スポットなど。

蕪島、白浜海水浴場、八食センターは有名だと思います。

？特徴的な方言を教えてください。

「うしろこんど」→後頭部、「あぐど」→かかと、「ひざかぶ」→ひざ、「こぶら」→ふくらはぎ、などがあります。

？生まれ変わった時も西和賀町に住んでいると思いますか。

西和賀町に海があったら、また住んでみたいと思います。

八戸市データ（平成17年10月1日現在）
人口　244,678人
面積　305.17km
世帯数　90,265世帯
ホームページ
http://www.city.hachinohe.aomori.jp/

ご自由にご記入ください

タイトル

【　　】のことについて

匠の神髄（たくみのしんずい）……⑥

皮細工を趣味に

大澤リキさん（若畑・92歳）

リキさんは、大正4年生まれで今年で92歳を迎えます。若畑小学校跡地に昭和52年に建設された高齢者創作館で地域の仲間と集まりながら創作活動に取り組んでいます。

何よりも創作館でみんなと会って作業するのが楽しみで「ここさ来るの楽しみにしてら。息子に、はやぐつであえでけろっていうども、（時間が）まだ早ぇなと言われる。はっはっは」と毎日を楽しんでいます。

グループ内では「校長先生」「大先輩」と言われ、創作グループの代表役の藤原若子さんは「リキさんはてんどが良い。何やっても、どれってこれって手ほろがね。いっそ本を見ながら自分で考えで、おらださおしぇでける」と信頼をおきます。

創作館での作業は盆と正月を除きほぼ年中通して行われ、都合の良い時間にそれぞれが集まり作業することになっています。

6月中旬から7月下旬までの間に木を切り、皮をはいで、ある程度の大きさに刻んで乾燥させ、それを編んでいきます。冬の期間だけでも、部屋が一杯になるほど作ります。

創作館ができて編み方を習い始めの頃は、籐を中心に創作が行われましたが、その後は沢内だけの特色をだすためにアケビ、オニクルミ、マンダノキ、ウリカエデ、ヤマブドウなどで編むようになったそうです。皮細工に取り組んだのはここ10年ほど。リキさんは眼鏡もかけずに、器用に皮を編んでいきます。

また、村などでも講師を依頼して講習しましたが「先生を頼んでもらって1週間おしぇでもらった。しかし、おしぇでけろといったら、自分で考えなさいと言われだ」と笑いながら当時を振り返ります。そのため、試行錯誤しながら作品づくりに取り組んできました。

皮細工では、主にクルミの皮を使いますが、それだと一色の物しか作ることができません。そのため、クルミの皮の裏と表を使ったり、あるいはスギの皮などを使い、交互に編むことで格子の模様にするなど工夫しています。

作品づくりは、大きさを統一させるために木の形に合わせて編みます。

リキさんは「（皮の）幅っこそろえるのと、てっこつけるのが難しい」と言い、以前は皮の幅も広かったようですが現在の幅は1センチ程度です。「おれだば何日もかかるども」と言いつつ、写真の手提げかばんだと編むだけならば1から2日で編み上げます。「何かもっとかっこういぐこしぇだらいがべども。皮は、薄い所もあるし厚いところもある。厚いとぐれっと曲がって切れる。皮に傷をつけないように傷つければ終わりだ」と言いながら慎重に作業を進めます。

いったん編み上げられた製品は再度水にひたし、皮どうしの隙間を詰め、その後に乾燥させて完成します。「本当におもしぇど。でぎあがればこそ良いたってな。寝でれもよ、あや～あっこなんじしたらいがべ、ここなんじにしたらいいべと考えるもんだ」

創作館にはお昼弁当を持ち寄り世間話に花をさかせながら作業を行います。この日も4人が集まり、作業場は活気に満ちていました。

「本当におもしぇど」

5月23日放送分

社会福祉協議会の組織

西和賀町社会福祉協議会事務局次長　廣田　宏（こう）さん

今年4月1日、西和賀町社会福祉協議会が誕生しました。今日は社協の組織についてお話します。

社協の理事会は理事12人で組織され、湯田と沢内から6人づつ選出します。監事は2人で、理事、監事とも評議員会で選出します。

評議員会は重要な事項（定款の改正、予算、事業計画など）を議決する機関です。30人で組織され、湯田と沢内から10人づつの20人、および社会福祉団体や他の社会福祉法人などから10人を理事会の決定により選出します。

社協の本部事務所は太田の老人福祉センター内に置き、川尻の高齢者生活福祉センター「悠々館」に支所を置きます。合併により範囲が広くなりましたので、ケアマネージャーは両方の事務所に配置しています。

さて、社会福祉法が平成12年に改正され、地方自治体が地域福祉計画を策定することが法定化されました。

策定にあたっては住民参画が不可欠であり、地域福祉の推進の方策やそのための財源のあり方など、住民やサービス利用者の意見を反映するシステムが求められています。

このような背景のもと、従来行ってきたサービスを後退させないよう、今後も町民の皆さんと福祉を作り上げていきたいと思います。

（編集部注：本町ではまだ地域福祉計画を策定していません）

5月9日放送分

地域包括支援センターを設置

支援センター主任保健師　廣田里美さん

平成18年度から介護保険制度が改正され、「介護予防」と「自立支援」が強化されることになりました。介護を受ける方の意欲や能力を引き出し、介護が必要な人を増やさないこと、また、介護が必要になってもそれ以上状態を悪化させず、できる限り自立した生活を目指すことが求められています。

そこで、本町では「介護予防」の拠点として、今年4月に「地域包括支援センター」を沢内病院内に設立しました。

主な活動としては、①要支援1ないし2、および今後要介護状態となるおそれのある方に対し、生活支援や助言などを行うこと　②「権利擁護業務」として、お金の管理や契約、悪質商法被害への対応、および虐待防止などに務めること　③「総合相談窓口機能」として、介護や健康、生活に関することなどあらゆる相談に応じます。

「老いる」ということには不安が先行してしまいがちです。そんな不安を誰に話してよいかわからないときは、ぜひ当センターにご相談ください。

お近くの民生委員や保健委員でも結構です。いろいろな職種や役員の方々と協力しながら、皆さんを支えていきたいと思います。

地域包括支援センターは、太田の沢内病院にありますし、支所は川尻の悠々館（町社会福祉協議会）にあります。

有線放送係から

くらしと健康

【有線で放送した「くらしと健康」から抜粋しお知らせします】

5月30日放送分

介護予防とお口の健康

沢内病院歯科医長　内記　恵さん

介護保険制度の改正により、新しく介護予防サービスが始まりました。今日はその中から「口腔（こうくう）機能向上」についてお話したいと思います。

口腔機能とは、口の機能・役割のことです。食べること、呼吸すること、人とコミュニケーションすることなどです。

口腔機能が損なわれると、栄養が十分取れなくなり、体力・免疫力の低下を引き起こし、寝たきりにつながるといわれています。また、口内の細菌が増えて歯や歯ぐきの病気が進み、肺炎も起こしやすくなります。さらに、口から食べられなくなると、意欲の低下を引き起こし、会話や感情表現がうまくできないと、認知障害が進行するともいわれています。

口腔機能の低下を防ぐには、まず、口の中をきれいにすることです。歯と入れ歯をていねいに磨き、うがいをよくすることが大切です。これは口の中のマッサージやトレーニングにもなります。そして、口をよく動かすことです。食事の前後に口唇、舌、頬の運動、首や肩の運動、深呼吸などを行うのも有効です。

介護予防のためにも、口の健康はとても大切です。元気なうちからお口の健康に十分注意しましょう。

沢内庁舎の放送室で

みんなの声

20ページの回答です

住民税（町県民税）が改正されました

住民税は17年度（一部16年度）に地方税制改正があり、18年度から適用になっているためです。ご指摘のように、今まで税金が非課税の方にも税金がかかりますし、税額がアップする方もいます。具体的には次のような理由によります。どうぞご理解をお願いします。詳しくは税務課（沢内庁舎）☎ 85-3414まで

制度の変更点

①定率減税の縮減

昨年まで個人住民税所得割額で15％で上限4万円だった定率減税が、今年から7.5％になり上限も2万円になりました。これは、19年6月分から廃止されることになっています。

②65歳以上（老年者）の者に係る非課税措置の廃止

合計所得金額が125万円以下の方は非課税でしたが、この制度が廃止されました。

③65歳以上の老年者控除の廃止

昨年まで、老年者控除として48万円がありましたが、この制度が廃止されました。

④年金所得計算の変更

●Aさんの場合でどのくらい変化があるか例示します。

Aさんは、65歳以上で、昨年と同じ収入があったとします。それを昨年の割合で計算した場合と、今年の割り割合で計算してみます。

Aさんには年金だけで年額266万8,598円の収入があります。これから保険料、生命保険料などの支払い分が控除（差し引かれ）され、昨年の住民税額は4,000円でした。しかし、今年度分を計算してみると、最終的な住民税額は2万5,900円になります。

これは、さきほどのように65歳以上の方に対する優遇措置の見直しのためです。

		１７年度 …ア	１８年度 …イ	増減 …イ－ア
年金収入		2,668,598円	2,668,598円	0
年金所得計算	※1	収入×75％－75万円	収入－120万円	
年金所得		1,251,448円	1,468,598円	217,150円
控除	社会保険料	255,900円	255,900円	0円
	生命保険料	35,000円	35,000円	0円
	損害保険料	15,000円	15,000円	0円
	老年者控除	480,000円	0円	△480,000円
	基礎控除	330,000円	330,000円	0円
	配偶者控除	380,000円	380,000円	0円
	控除計	1,495,900円	1,015,900円	△480,000円
課税標準額（所得－控除）		0円	452,000円	452,000円
住民税	所得割	0円	20,900円	＋20,900円
	均等割 ※2	4,000円	5,000円	＋1,000円
	納税額の合計	4,000円	25,900円	＋21,900円

※１　年金所得計算の変更

［年金の控除が140万円から120万円に減額になりました。Aさんの場合、年金計算のランクが収入260万以上に該当しますので、17年度は、収入×75％－75万の計算でしたが、制度改正により控除額120万円となっています。］

※２　均等割（いわての森林づくり県民税の創設）の1,000円増額

申込締切／7月17日（月）
申込・問合先／県南青少年の家☎0197-44-2124

その他

町民ゴルフ大会参加者募集

ゴルフ同好会（大澤長嘉代表）では、第1回西和賀町民ゴルフ大会を次の通り開催します。
日時／7月17日（祝）　現地集合9:15、スタート9:44
場所／湯田高原カントリー倶楽部
参加資格／町内居住者であればどなたでも
参加料／4,000円（プレー、昼食代は別に参加者負担）
申込締切／7月10日（月）
申込・問合先／大澤長嘉（対滝閣）☎84－2221

消火器等の訪問販売に注意

今、消火器等や火災報知器の悪質な訪問販売による被害が急増しています。業者は消防署の名前を使ったり、点検業者になりすましたりして販売・点検を行い、法外な料金を請求しています。

消防署では消火器等の販売・点検などは行っていません。不審な業者が訪問した場合はご注意ください。
問合／西和賀消防署☎84-2507

障害者技能競技大会

障害のある方々が技能を競う、第4回岩手県障害者技能競技大会「いわてアビリンピック2006」が開催されます。ただいま参加者を募集しています。
日時／9月24日　9:00～14:00
会場／県立産業技術短期大学校（矢巾町）
競技職種／ワードプロセッサ、パソコン（表計算）、洋裁、縫製、木工、喫茶サービス
対象者／障害者手帳所有者または知的障害者で、いずれも4月1日現在満15歳以上の方
参加料／無料
申込期限／8月10日（木）
問合先／(社)岩手県障害者雇用促進協会☎019-652-8080

交通事故無料相談

（社）日本損害保険協会の盛岡自動車保険請求相談センターでは、交通事故に関する無料相談を行っています。
相談日／月～金曜日（祝日を除く）9:00～17:00
弁護士相談日／第2・第4水曜日13:00～16:00（予約制・要面談）
問合先／盛岡自動車保険請求相談センター☎019-651-4495

山に入る際のお願い

登山・山菜取り・渓流釣りなどで山に入る際は、次のことを心がけましょう。

1．登山する方は、登山道以外のところを歩かない。
2．ハチに注意しましょう。
3．携帯電話・発炎筒（車載のもの）・懐中電灯・笛などを持ち歩きましょう。

問合先／西和賀消防署☎84-2507、北上消防本部警防課☎65-5175

東北電力お客様窓口の変更

東北電力では、7月1日から花巻営業所と北上営業所を統合し、お客様窓口を花北営業所（現北上営業所）に変更します。これに伴い、西和賀町は花北営業所の管轄となります。
花北営業所所在地／北上市本通り4丁目11-12
問合先／東北電力岩手支店　広報・地域交流グループ☎019-653-4948

ケアマネージャー受験講座

10月に介護支援専門員（ケアマネージャー）試験を受験する方を対象に講座を開催します。
日時／8月19日～20日
場所／岩手産業文化センター「アピオ」（滝沢村）
受講費用／13,000円
募集人員／100名（定員になり次第締め切り）
問合先／岩手県高齢者福祉生活協同組合☎019-653-5830

戸籍の窓（敬称略）

5月19日～6月16日受付分

※掲載を希望しない事も出来ます。届け出の際にお申し付けください。

お悔やみ申し上げます

伊藤　昭・67歳・湯田
髙橋　シゲ子・79歳・川舟
髙橋　マサ・82歳・湯本
猿橋　コウ・78歳・猿橋
古澤　キセ・96歳・新町
髙橋　新作・72歳・新町
菊池　義雄・78歳・越中畑

ご誕生おめでとうございます

松山　桜輔（おうすけ）・男・孝浩・長瀬野
藤島　蒼太（そうた）・男・和・川尻一区
髙橋　染真（りょうま）・男・友則・太田

末永くお幸せに

菊池　直樹・石川　和花　上野々・大野
佐川　圭・佐藤　美紗子　湯本・湯本
久保　美知樹・藤田　智恵　若畑・遠橋

住民の動き（5月末現在）

項目	実数	前月との比較
転入	8	－
転出	11	－
出生	4	－
死亡	5	－
人口	7,580	－4
男	3,555	－1
女	4,025	－3
世帯数	2,531	－4

交通事故の状況（5月分）

	物損	負傷	人身	死亡	飲酒
実数	9	2	2	0	1
累計	(82)	(16)	(13)	(0)	(1)

（　）は1月からの累計

火災・救急の状況（5月分）

■火災

区分	火災出場件数	損害額
件数	0件（1件）	0円（819万8,000円）

■救急

区分	救急出場件数			合計
	交通	急病	その他	
件数	3件（10件）	13件（56件）	13件（51件）	29件（117件）
搬送人員	4人（10人）	12人（53人）	12人（48人）	28人（111人）

（　）は1月からの累計

役場から

操法大会はさくらホールで

6月18日に錦秋湖グランド駐車場で行われた第1回西和賀町消防操法大会で、次の5チームが北上地区大会に出場します。

どうぞ応援をお願いします。

出場隊／ポンプ車の部
4分団第2部（太田）、6分団第1部（川舟）

小型ポンプの部
6分団第3部（見沢）、4分団第1部（前郷）、2分団第2部（左草）

会場／7月2日にさくらホール第2駐車場にて

ゴムボート川下り大会

毎年恒例の「和賀川ゴムボート川下り大会」を開催します。

約170艇のゴムボートが出場し、槻沢（馬ころばし）から川尻までの6.5kmを下ります。みなさんのご声援をお願いします。

開催日／7月9日（日）
競技開始時刻／10:30～
問合先／観光商工課（湯田庁舎）
☎82-3290

ホストファミリー募集

8月から外国人英語講師としてアメリカからマシュー・ギャマンさん（男性）が着任します。

マシューさんは西和賀町の生活をより理解したいとホームステイ体験を希望していることからホストファミリーを募集します。マシューさんは日本語を話したりできるそうです。

期間／7月下旬1～2週間程度（若干の謝礼有り）
応募方法／電話又はFAXで住所・氏名・電話番号をお知らせください（応募多数の場合は、協議の上決定します）。
応募締切／7月7日（金）
問合先／学務課（沢内庁舎）
☎85-2337　FAX85-2844

油の流出にご注意

最近、事業所や一般家庭のホームタンクから重油や灯油などが川に流れ出す事故が多く発生しています。

油が流出した場合は、処理費用は原因者の負担となるので、日頃から点検管理を行うようにしてください。

問合先／町民生活課（湯田庁舎）
☎82-3283

ふるさとCM参加団体募集

岩手朝日テレビで行っている「ふるさとCM大賞2006」に町として参加します。そこで、次のとおり参加説明会を行います。

「西和賀町のCMを自分たちで作ってみたい」という方はご連絡ください。

説明会／7月4日（火）13:00～
説明会申込／6月30日(金)まで
場所／湯田庁舎2階　庁議室
問合先／企画課（湯田庁舎）☎82-3284

はかりの検査と事前調査

業務用・営業用で、取引・証明に使われるはかりは、2年に1回、県の定期検査を受けることが義務付けられています。今年度は10月30日に湯田地域、31日に沢内地域を対象に実施します。

なお、検査に先立ち、今後事前調査にうかがいますので、ご協力をお願いします。

はかりが検査対象かどうか確認したい方は、下記までお問い合わせください。

○検査が必要なはかり（例）
①商店などで使用する取引用のはかり　②農家などで庭先販売に使用するはかり　③有人（無人）販売所での量り売りや、特産品等の内容量表記のために使用するはかりなど

○検査の必要がないはかり（例）
①家庭で使う体重計やキッチンスケール　②浴場や旅館などにある体重測定用の試しはかり　③会社等で郵便料金を調べるためのはかりなど

問合先／観光商工課（湯田庁舎）
☎82-3290

国民年金保険料免除制度

今年7月から、国民年金保険料の免除制度が利用しやすくなります。

国民年金の今年度の保険料は13,860円ですが、経済的な理由で納付が困難な方は、免除制度をご利用ください。

問い合わせ先／町民課（沢内庁舎）☎85－2111

国や県から

環境スクール参加者募集

岩手中部地域広域市町村圏事務組合では、川の成り立ちとダムの役目を学び、環境への理解を深めていただくため、小学生親子を対象に「親子環境スクール」を開催します。

開催日／8月4日（金）
行き先／岩手町（川の駅、北上川源泉「弓弭（ゆはず）の泉」）、雫石町（小岩井農場）、盛岡市（四十四田ダム、水力発電所）
募集人員／親子23組
参加料／1人50円（保険料）。昼食は各自持参
申込／ハガキに「親子環境スクール参加申込」と記入し、親子それぞれの住所、氏名、年齢、生年月日、性別、電話番号を明記してください。電話での申込はできません。
申込期限／7月21日（金）当日消印有効
申込・問合先／〒025-8601　花巻市花城町9-30　花巻市役所内岩手中部地域広域市町村圏事務組合☎0198-24-2111(内線615・611)

『子育てと家庭生活』講座

県南青少年の家では、「いわてシルバーカレッジ研修講座」公開講座の受講者を募集します。

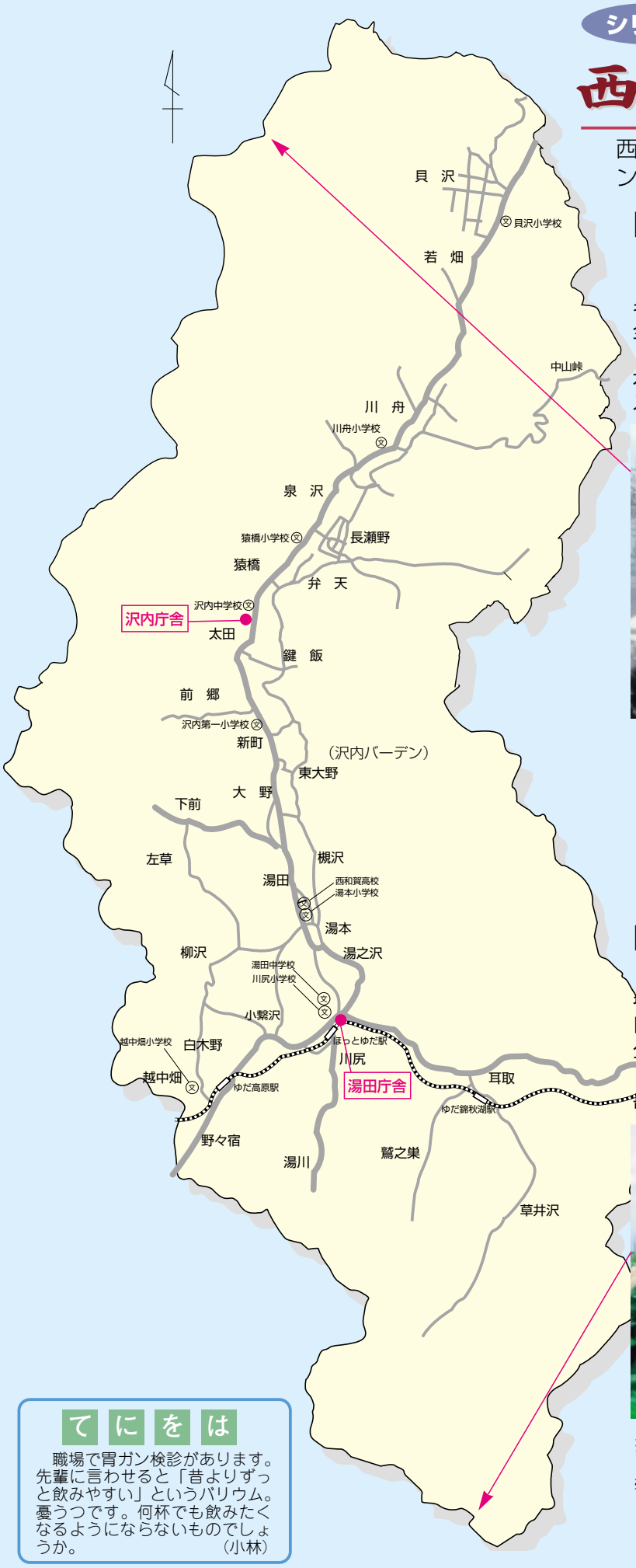
対象／岩手県民一般
日時／7月20日（木）9:00～12:00
会場／県南青少年の家（金ヶ崎町）
演題／『子育てと家庭生活』
講師／盛岡大学　大塚健樹教授
受講料／無料

■広報にしわが　平成18年6月23日発行　岩手県和賀郡西和賀町・☎（0197）82−2111　発行人・高橋繁／編集人・高橋定信／毎月25日発行／印刷・(有)平鹿印刷・横手

シリーズ

西和賀探訪……⑦

西和賀町の歴史・文化・観光施設・イベントなどを紹介します



■和賀岳

南北に連なる真昼山地の最高峰で標高は1,440㍍。

別名「阿弥陀岳」とも呼ばれ、かつては沢内マタギの狩猟場で、和賀川源流域は環境省の自然環境保全地域に指定されています。

コースには、高下から入る通常ルートの他に、大木原から入る未整備の貝沢ルートと、秋田県側から入る真木コースがあります。

撮影：岩手県自然保護指導員　佐々木静夫さん（川舟）

■南本内岳（みなみほんないだけ）

南本内川の源流であるとのことから南本内岳と命名されました。標高は1,486㍍で、別名「権倉山」「権四郎森」と呼ばれます。山頂付近は、栗駒国定公園の一部に指定されています。

コースは、草井沢からの通常ルートのほかに焼石岳経由で縦走できます。

撮影：岩手県自然公園保護管理員　菅原良さん（川尻）

※お二人とも岩手県から委嘱され、それぞれ和賀岳と南本内岳のパトロールを行っています。

てにをは

職場で胃ガン検診があります。先輩に言わせると「昔よりずっと飲みやすい」というバリウム。憂うつです。何杯でも飲みたくなるようにならないものでしょうか。（小林）

R100 古紙配合率100％再生紙を使用しています　地球環境にやさしい大豆インキを使用しています